

ご存じですか「裁判員制度」

国民から選ばれる裁判員が刑事裁判に参加する「裁判員制度」は、平成21年5月21日から施行されます。裁判所では、各種広報活動を通じてさらに国民の皆さんへ制度の周知を図るとともに、評議や公判廷での裁判手続の

運営の在り方、裁判員の選任手続などについて、より具体的に準備を進めているところです。新聞やテレビなどで既に制度の詳細をご存じの方も多いと思いますが、改めて制度の基本部分について説明します。

- ▼裁判にかかる日数は3日以内が約7割と想定されています。
- ▼大量の書類を読む必要はありません。法律知識も必要ありません。
- ▼裁判官、検察官および弁護人のやりとりは平易で分かりやすいものになるよう工夫されます。
- ▼裁判官、検察官および弁護人が、審理を始める前に事件の争点を整理します。
- ▼裁判にかかる日数は3日以内が約7割と想定されています。
- ▼大量の書類を読む必要はありません。法律知識も必要ありません。
- ▼裁判官、検察官および弁護人のやりとりは平易で分かりやすいものになるよう工夫されます。



問1 裁判員の役割は？
裁判員の役割として、主に次の3つがあります。

裁判員が参加する仕事

裁判員の役割として、主に次の3つがあります。

- 2. **評議・評決** 裁判員は、裁判官と一緒に被告人が有罪か無罪かを判断し、有罪の場合はそのような刑にするかを議論し決定します。
- ▼評議では、法廷で見聞きした証拠のみに基づいて判断します。
- ▼裁判員と裁判官が議論を尽くすことによって、正しい裁判が導き出せます。
- 3. **判決** 裁判員は、裁判長が行う判決宣告に立ち会い、その職務を終えます。

問2 裁判員が参加するのはどのような事件ですか？

- 次のような一定の重大事件のみが対象となります。
- 【例】**
- (1) 人を殺した場合(殺人)
 - (2) 強盗が、人にけがをさせ、あるいは、死亡させた場合(強盗致死)
 - (3) 人にけがをさせ、その結果、死亡させた場合(傷害致死)
 - (4) ひどく酒に酔った状態で、自動車を運転して人をひき、死亡させた場合(危険運転致死)
 - (5) 人が住んでいる家に放火した場合(現住建造物等放火) など